

静岡市創生推進会議委員からの提案について

(1)ターゲットに向けた事業の実施

No	委員	提案名	ターゲット	提案内容	実施時期	提案に対する実施内容	予算額(千円)	期待される効果	今後の展望	備考
1	八木委員	首都圏等学生のUターン促進	本市出身首都圏等学生	人口減少対策の最もターゲットとなる首都圏等の学生に対し、Uターンを促進する事業を実施する。 ・企業認知率、理解度、好感度、就職意向の向上 ・大学との連携(キャリアセンターとの交流強化と情報共有等)	H29一部実施	・商工会議所と連携して「就活よろず支援体制強化事業」を既に実施している。 ・保護者向け説明会の開催や、市内高校同窓会を活用して、市内企業情報誌を発行、配布を行った。 ・新規に企業向け求人・採用力強化事業や、就職情報サイト「しずまっち」に企業と学生の相互交流機能を追加する。	36,605	・母数の多いこの層をターゲットし、Uターンを促進することで、人口減少の抑制につながる。 ・学生に対し、市内企業の情報がこれまで以上に届く。 ・採用計画が未充足となっている市内企業が減る。 KPI:市内Uターン率 など	・首都圏等大学との連携については、県が就職支援協定を締結している県外大学に対し、県と連携して情報共有等を行っていく。 ・既に実施している県内大学との連携をより強化し、地元就職の促進も図っていく。	別添資料1
2	和田委員	働きやすい環境等の意識調査	首都圏等学生、地元学生	労働局では、女性の活躍推進のために、働き方改革の取組み中で、働きやすい職場づくりを目指している。静岡市と連携していきたい。労働局側からは実施することが困難であるため、労使を対象に、働きやすい環境等について意識調査を実施していただきたい。	H29実施	・雇用及び就業環境に関する実態・ニーズ調査を実施する。	5,000	・本調査の実施により、特に中小企業にとって、雇用及び就業環境の改善のために必要と考えられる支援策を構築する。 ・ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業など、魅力的な企業を増え、若者、女性のUターン、地元定着につながる。 KPI:ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業数 など	・調査結果を踏まえ、今後の支援策等を構築する。	
3	百瀬委員	在宅勤務するにも静岡はいいねえ	首都圏等在宅勤務者	名古屋、東京まで新幹線で1時間という地理的強みを活かし、首都圏、中京圏の大企業を対象に、在宅ワーク実施に向けた環境を整備することで、在宅ワーカー、テレワーカーの移住を促進する。	H29一部実施	・首都圏等の企業に対し、業種として在宅勤務の可能性のある大手企業に対し、在宅勤務の状況や、課題についての実態調査を実施する。 ・新たに設置する「お試し住宅」を活用し、首都圏等で在宅勤務制度のある企業への働きかけを通して、お試し在宅勤務を実施する。	2,000	・移住における大きな障壁となっている「仕事」について、在宅勤務の推進は、仕事を変えずとも、本市への移住につながる。 ・特に、IT系企業などの方が、本市で在宅勤務を行うことで、地元大学等との連携が期待できる。 KPI:在宅勤務によるお試し住宅の利用者数 など	・利用者のニーズ等を踏まえた上で、お試し住宅の拡充や、サテライトオフィス、コワーキングスペースの可能性について調査する。 ・地域の大学との連携も図っていく。	別添資料2
4	小島委員	チャレンジする人を応援するまち「しずおか」	起業家	起業家の事業拡大を促進するために、民間団体等と連携し起業家を盛大に表彰し、起業しやすいまちをアピールする。(再来年のシズカンウィークの頃に発表できればいいのでは。)	H29一部実施	・他で実施している起業家表彰などについて、調査する。 ・どのようなアワードが起業促進につながるかなど、市内の起業家の意見を参考にしながら、表彰制度を確立させていく。	1,000	・これまでの起業支援に加え、本事業の実施により、制度のみならず、環境面の整備が整い、起業しやすいまちとなる。 ・起業が増えることで、雇用増にもつながり、移住者のみならず、定住にもつながる。 KPI:開業率 など	・調査研究等を踏まえ、新たな表彰制度を確立し、実施していく。	

(2)「情報発信の強化」事業(既存事業の拡充、民間事業者との連携など)

No	委員	提案名	提案内容	実施時期	提案に対する実施内容	予算額(千円)	期待される効果	今後の展望	備考
5	増山委員	静岡市はいいねえ。届け隊の拡大	首都圏に支店・本店のある静岡に縁のある法人を「いいねえ。届け隊」の法人部隊に認定し、官民全体で本市の魅力をPRする。	H29 一部 実施	・静岡市「いいねえ。届け隊」として、まずは、静岡銀行、清水銀行の東京支店に協力を得て進める。	-	・交流人口の拡充につながる。 KPI:首都圏における本市イベント(大道芸WC)などの認知度 など	・協力企業を増やしていく。 ・市内大学の学生が、市応援団として、本市の魅力をPRすることを進める。	
6	松下委員	交通事業者と連携した静岡市のPR	全国に広く本市の強みをPRするために、全国展開している配送事業者と連携し、配送トラックにPRステッカーを貼付する。	先行 実施	・全国展開は難しいが、佐川急便の配送トラックに、市の情報をポスターシールにして掲示する(20台)。 ・なお、来年度、地方創生に関する協定を締結する予定。	ステッ カー 作成代	・定住人口、交流人口の拡充につながる。 KPI:市民の本市への愛着度 など	・リアルタイムな情報を、掲示していく。 ・佐川急便のトラック116台の掲載を予定している。 ・全国への情報発信を図るため、全国展開するトラックへの掲載も進めていく。	別添 資料3
7	沼田委員	みんなでおもてなしするまち「しずおか」	静岡市民みんなが広報マンとなって、SNS等を活用し市の魅力をPRする。例えば、タクシーへ静岡市の魅力満載パンフレットを配架する他、説明用マニュアル「虎の巻」を作成し、配布する。	H29 実施	・新たに、おもてなしドライバー育成講習会を開催し、観光講座、おもてなし講座などを行う。	398	・質の高い「おもてなし」をすることで、本市のイメージアップにつながる。 ・観光などの交流人口の拡充につながる。 KPI:ぜひまた訪れたいと思う来訪者の割合 など	・講習会等を継続的に開催し、おもてなし講座の修了者を増加させる。 ・ドライバーのインセンティブを高めるため、表彰制度などについても検討する。	
8	小林委員	子育てof the year	女性の就業や子育て支援、男性の育児参加支援を行っている企業を自薦他薦問わず募集し、その年の「子育て of the year」を選定する。静岡市の広報紙やHPで「子育て応援企業」として企業広告の掲載権利(1年間)を与えて、応募のインセンティブとする。	H29 一部 実施	・「女性の活躍応援事業所表彰」を既に実施。 ・当該表彰企業を、市HPや若者就活応援サイト「しずまっち」に掲載。 ・同窓会誌、いいねえ静岡生活などへの掲載を行っていく。	-	・ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業など、魅力的な企業を増え、若者、女性のUターン、地元定着につながる。 KPI:「女性の活躍応援事業所表彰」への応募企業数など	・応募のインセンティブを高める方法を検討する。	

(3) 今後、検討を継続する事業

No	委員	提案名	提案内容	実施時期	現在の検討状況	今後の展望
9	沼田委員	安倍川花火のビューポイントを作って、みんなで盛り上がりよう！	静岡市の夏の風物詩である「安倍川花火大会」。毎年多くの観光客が訪れるが、打ち上げ付近はかなり込み合う。そこで、 会場の外にビューポイントを用意し 、静岡市のどこからでも花火が見られるようにする。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・実現に向けては、ビューポイントの設定や、渋滞、混雑への対応など、課題を整理する必要がある。 ・ビューポイント百選などを検討。 	
10		ビアバイクを活用したまちの賑わいづくり	静岡市の平地を活かし、 オランダ発祥の移動式ビアカウンターに乗り、ビールを飲みながらペダルをこいで、自転車で観光 をする。ILOVEなどで実施でもよいが、市には規制等について整理していただきたい。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの賑わいづくりの手段の一つとして、ILOVEしずおか協議会などと連携してできないか検討。 	
11	福地委員	グラニュー糖入り抹茶を中東圏に輸出する	本市の特産である「お茶」活用し、甘いお茶を好む中東諸国に向けて、 グラニュー糖入り抹茶を輸出することで販路拡大や行政財源の確保 へ繋げる。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、イタリアミラノを中心に、静岡茶のPRを実施している。 	
12		地域包括圏域内移動システム構築事業	自動車の運転ができない高齢者等を対象に、 地域包括圏域ごとに地域を細かく網羅する乗り合いバスもしくは乗合タクシーを設置 する。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交通弱者対策支援事業については、H28から市内4か所で試行的に実施している。 	
13		静岡市立医療専門学校 <small>（看護師、臨床検査技師）</small> の設立	従来から医療機関における慢性的な看護師不足状態であったところ、介護分野における看護師需要が増大した。静岡市内における看護師養成人数が 絶対的並びに相対的に少ない 。また、市内に臨床検査技師養成学校がなく、県内でも浜松市に1校だけである。 医師会並びに市内各病院と協働して、学校を運営 することで、看護師不足解消を図るとともに、人口の流出抑制などを図っていく。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の高等教育のあり方検討を進める中で、あわせて検討していく。 	
14	富永委員	あったかいんだから「静岡」	春の静岡祭り、夏の安倍川花火、秋の大道芸に次ぐ 冬のビックイベントを開催し、「暖国」をPR する。イベントの小道具は「みかん」と「おでん」。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に「おでんフェスタ」を拡充して実施したことがある。 ・委員と所管課の意見交換を通して、今後の方針を決定していく。 	
15		「駿府城」大作戦	静岡市民のシンボルである「駿府城公園」の活用に向け、 官民のプロジェクトを立ち上げ、公園の活性化 を図るとともに、駿府城の再興も視野に入れて、全国や世界に発信する。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・H28から行財政改革推進審議会において公的不動産の有効活用(PRE)について審議している。 ・今後の審議結果を踏まえ、駿府城公園の活性化を図る。 	
16		チェック政令市	市民が、静岡市が政令市となったことの果実を実感できていない現状がある。県との連携・調整を踏まえ、 政令市としてのメリットについて、市民自らが参加し検討 する。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・清水区でのタウンミーティングなど、市民との対話の機会を通して、政令指定都市になったことのメリット等を説明していく。 	